

沖 芸 大 第 3 9 8 号
令和 7 年 2 月 1 0 日

各関係大学長
各関係機関長 殿
各団体長

沖縄県立芸術大学
学長 波多野 泉
(公印省略)

教員公募について（依頼）

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、本学では下記の要領により、教員公募を行うこととなりました。

つきましては、関係各位に御周知方よろしくお願い申し上げます。

記

- | | |
|----------|--|
| 1 職 名 | 教授、准教授又は講師 |
| 2 採用人員 | 1 名 |
| 3 所 属 | 美術工芸学部（全学教育センター） |
| 4 専門分野 | 博物館学（芸術分野） |
| 5 担当授業科目 | 博物館学課程科目：
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、博物館資料保存論、
博物館展示論、博物館情報・メディア論、博物館教育論、
博物館実習、生涯学習概論
全学教育センター科目：
初年次セミナー |
| 6 応募資格 | 次の各号を満たす者
(1) 博士の学位を有し、専門分野における優れた研究業績と教育上の能力を有する者、若しくは修士の学位を有し前者と同等の業績及び能力を有する者
(2) 博物館学課程における基礎教育及び専門教育ができる者
(3) 上記の科目を複数担当できる者
(4) 学芸員資格を有し、博物館等で学芸員として5年以上の実務経験を有する者
(5) 文化財の管理（保存・取り扱い・修復等）に関する5年以上の実務経験を有する者
(6) 本学附属図書・芸術資料館の学芸業務に従事できる者
(7) 全学教育センター及び大学の運営業務に積極的に携わることができる者
(8) 採用後は沖縄県内に居住できる者 |

7 採用予定日	令和8年4月1日 ※ただし、採用の日から6か月間は、試用期間となる。この間の職務を良好な成績で遂行したときに正式採用となる。
8 就業場所	(雇入れ直後) 首里当蔵キャンパス (変更の範囲) 変更なし
9 就業時間	8時30分～17時15分(1日7時間45分勤務したものとみなす裁量労働制を適用。)
10 休憩時間	12時00分～13時00分
11 休日等	土日、祝日、沖縄県の休日(6月23日)及び年末年始(12月29日～1月3日)
12 月給	290,700円～540,100円(経歴により異なる) ※その他、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等
13 加入保険	雇用保険、厚生年金・健康保険(公立学校共済組合)、公災
14 教員住宅制度	あり(採用前に県外に居住し、県内に住居を持たない場合に本学が民間住宅を借り上げる) ※家賃上限額等の条件あり。
15 受動喫煙対策	あり(敷地内禁煙)
16 応募締切日	令和7年4月25日(金) 必着
17 提出書類	(1) 履歴書(本学所定の様式) (2) 研究芸術活動業績書(本学所定の様式) (3) 教育校務活動業績書(本学所定の様式) (4) 社会活動業績書(本学所定の様式) (5) 自薦書(本学所定の様式) ※学芸員および文化財の管理に関する実務実績内容の詳細について、自薦書内に記述すること。 (6) 著書、論文等(3件以上5件以内、論文はUSBメモリで提出すること。) ※ 上記所定様式については、本学ウェブサイトからダウンロードして使用すること。 (沖縄県立芸術大学ウェブページ： https://www.okigei.ac.jp/employment/employment-index.html 教員の新規採用にかかる提出書類の様式(履歴書等)『教員用』)

- | | |
|-------------|---|
| 18 選考方法 | 一次選考：書類審査を実施する。
二次選考：一次選考通過者には面接及び模擬授業を実施予定
※面接・模擬授業予定日：令和7年6月18日（水）
※面接・模擬授業予定日の2週間前を目処に詳細な時間等を通知する。
※面接に要する旅費等の経費は応募者負担とする。 |
| 19 選考結果 | 採否は令和7年7月末日を目処に本人宛て通知する。 |
| 20 応募書類の返還 | 提出書類等は選考終了後に返送するので、返送用切手等を同封すること。 |
| 21 応募書類の提出先 | 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学 教務学生課 宛て 電話 098-882-5080
（郵便書留とし、宛名面左下に「全学教育センター教員応募書類 在中」と朱書きのこと。） |
| 22 問い合わせ先 | 沖縄県立芸術大学 教務学生課
電話：098-882-5080 E-mail：kyomu@okigei.ac.jp |
| 23 備 考 | (1) 本学の建学の理念を理解し、専門分野において教育・研究の意欲に溢れる者を求める。
(2) 本学の定年は65歳である。
(3) 本学は、女性研究者の積極的な応募を歓迎する。本公募では、男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）に基づき、業績及び人物評価等の審査結果が同等と認められる場合には、女性を優先して採用する。 |